

首都圏中央連絡自動車道(神奈川県区間)の整備促進に関する要望を行いました

神奈川県商工会議所連合会（会頭：佐々木謙二）、神奈川県商工会連合会（会長：関戸昌邦）、横浜市幹線道路網建設促進協議会（会長：藤木幸夫）、相模原市公共交通網の整備を促進する会（会長：杉岡芳樹）など、県内の14市町の民間団体では、7月18日に、『首都圏中央連絡自動車道（神奈川県区間の高速横浜環状南線・横浜湘南道路・さがみ縦貫道路）の整備促進に関する要望』を行いました。

当日は、神奈川県商工会議所連合会の佐々木謙二会頭（横浜商工会議所会頭）を先頭に、神奈川県商工会連合会の関戸昌邦会長、横浜市幹線道路網建設促進協議会の塚原良一副会長（神奈川県商工会議所連合会・横浜商工会議所専務理事）、相模原市公共交通網の整備を促進する会の杉岡芳樹会長（相模原商工会議所会頭）など、合計29名の関係者により、国土交通省、地元選出の国会議員などに要望書を提出しました。

国土交通省では、佐々木謙二会頭が徳山日出男 技監に面会し、要望書を直接提出したほか、小関正彦 都市局長、深澤淳志 道路局長などに面会のうえ要望書を提出しました。



徳山技監(左から4人目)に要書を提出する一行



小関都市局長に要望する佐々木会頭(左)



深澤道路局長に要望内容を説明する
佐々木会頭(右)